

まずは城東小学校と城東中学校のあり方、その次、または並行して東小と東部中学校のあり方を考えるべき。小中一貫も視野。学区の問題にも関わってくる。

城東小学校・中学校

城東小学校、城東中学校を一つにしたら、400メートルトラックができるのではないかな。また、小中の先生が移動しやすく小中の交流校のようなものが作られて、新たな教育システムが生まれるのではないかな。城東小と城東中と一緒に考えるとメリットが大きい。

城東地区に幼小中一貫校（12年）ができれば素晴らしいが、色々な問題（校区、適正規模）があるので、犬山北小学校、今井小学校の子どもたちのことも考えないといけない。

今井子ども未来園は小学校の中に入れなかな。

小規模校（栗栖・今井）

今井、栗栖、池野小学校が、今後、クラスという単位として成り立つのか検討していきたい。

地域によっては学校選択制も必要になってくるかもしれない。

今井や栗栖に住む人たちの思いを無視できない。

「残す」と決めれば、そのために必要な手段＝住みやすい環境を行政で整えていただきたい。地域の人にも協力をお願いして、児童・生徒が増えていく方法を考えるのが一番。

例えば今井の子どもたちが、城東小学校へ音楽や体育の授業をやりに行く、栗栖の子どもたちが犬山北小学校に行くという、少し柔軟な考え方で子どもたちの学ぶ場所を考えることも必要だと思う。

犬山市内の他の地区から誰でも栗栖や今井の環境にきたい人を通わせる措置を検討するとよいのではないかな。

今井、栗栖は個性を持った選択肢として仕立てないといけないだろう。学区もフレキシブルな状態に。今井や栗栖でしかできない学校が作れると面白い。（公立では無理）

学校選択制を（栗栖や今井への）一方通行にするわけにはいかなない。結果的に子どもたちがいなくなってしまうとならないように気を付けないといけない。